

富沢品質

目指すはお客様
満足度 **120%UP**

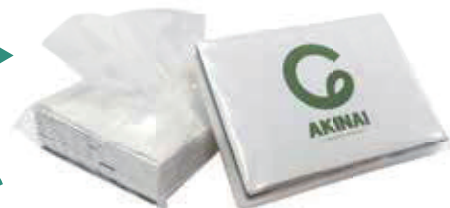
AGFA : Sublima+
スプリマプラス プリンティングコンテスト 2017-2018



高精細印刷コンテスト
金賞受賞
企画作品部門
01
作品名 株式会社アキナイ様 ティッシュ型会社案内

用紙：OKブリザード(片艶晒) 43kg
npi上質110kg
印刷：240lpi Azura TS 4色
加工：折、丁合、シュリンクパック

一見すると普通のポケットティッシュに見えますが、開けてみると、お客様のレストラン事業を紹介する9枚のシートが広がります



あっと驚く仕掛けで 楽しさ弾ける会社案内に

240lpi
TOMIZAWA
with :Sublima



渡辺 浩一 様
株式会社アキナイ
CHO



井原 ゆりか 様
株式会社アキナイ
企画・デザインチーム デザイナー

作品のポイント

- お客様の株式会社アキナイ様が強く希望されたのは、ポケットティッシュに見せかけたインパクトのある会社案内でした。
- 用紙選定から始まり、9種類の会社案内をいかにサイズに納めるか、実際にティッシュを入れてシュリンク包装するにはどうしたらよいか、試行錯誤の上、やっとできあがりました。



[営業担当] (写真右)

富沢印刷株式会社 営業3課 伊藤 宏

◀ インタビューは次のページへ

アキナイ様

富沢印刷

インタビュー

きちんとした会社案内を作るといって
固定観念を破りたかった

伊藤 まず、どこからポケットティッシュ型の会社案内を発想されたのですか？

渡辺様 会社案内は企業PRのためのものですが、PRと言って真っ先に思い付いたのは街頭でのティッシュ配りです。きちんとした会社案内を作るときという固定観念を破って、受け取った人が開けると楽しいワクワク感満載なものにしたいと思っただんです。これ以外にも、ガチャポンのカプセルに入れるなんてアイデアもあつたんですよ！



渡辺 浩一様

伊藤 それも面白いですね！そこで富沢印刷と出会って、本当にかたちになるのか不安もあったのではないのでしょうか？

渡辺様 いえ、初めて伊藤さんと打合せて、何とかしてくれるという手応えみたいなものを感じました。安心感がありました。御社からの提案が待ち遠しかったです。

井原様 富沢印刷さんに相談する前まではすべての印刷会社に断られていたのですが、伊藤さんが何とかならんじやないかと言ってくれて、ありがたかったです。3回にわたる試作を見て、確信が徐々に高まりました。



井原 ゆりか様

伊藤 最大の難関はシュリンクバックでした。最後に完成した時、私は加工現場にいたのですが、嬉しさのあまり、その場で興奮気味のメールを送ってしまったお騒がせしました(笑)。

渡辺様 ポケットティッシュという遊び具合と会社案内のマジメ感が最高のバランスで一体化しましたね。私も達成感があります。

伊藤 実際に使いやすいなられて、いかがですか？

渡辺様 取引先様から「面白い！」との声が数多く寄せられています。中には、何度も感想を述べてくださった方もいました。今後は採用活動で学生に広く配っていく予定です。人材確保が重要な時代ですので、一人でも多くの学生の印象に残るよう活用していきます。

お互いにモノづくりの姿勢に
共感できたこと

伊藤 最後に数ある印刷会社の中でなぜ当社をお選び下さったのですか？

渡辺様 外食産業である私たちアキナイは、食づくりの技と心を真つすぐお客様にお届けするビジネスです。富沢印刷さんのモノづくりの姿勢にも同じものを感じました。親身になってご対応いただき、それと下町の人情というの、熱い心と技が私たちにも伝わりました。

伊藤 本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。



[左から順に]
渡辺 浩一様
伊藤 宏(営業担当)
井原 ゆりか様

アキナイ様とは
どんなお客様？

株式会社アキナイ様は、スペイン・イタリア・フレンチ・和食・アメリカンなど個性あふれる多彩なレストランを全国に店舗展開する総合フードカンパニーです。

ベッシェ パンパーレイタリア(渋谷)

ル・ブル・ノワセット
トウキョウ(銀座)



うるしのかたち展

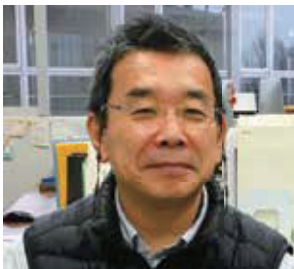
form of urushi
2017

02 高精細印刷コンテスト
社長賞受賞

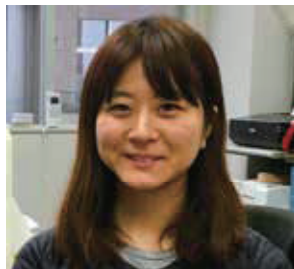
作品名 東京藝術大学様「うるしのかたち展」図録

うるしのかたち展とは?

明治20年(1887年)10月に東京美術学校が設置され、この頃から漆工科として専門分野での教育がされてきました。2007年から東京藝術大学漆芸研究室の成果展として、漆という素材にひとりひとりが向き合い、つくり出した作品でそれぞれの「うるしのかたち」を発表しています。



小椋 範彦 教授
東京藝術大学
美術学部 工芸科 漆芸



増村 真実子 先生
東京藝術大学
漆芸研究室 教育研究助手

240lpi
TOMIZAWA
with :Sublima

作品のポイント

- 画像とテキスト支給で制作しました。カンブで実物との色の違いを確認して頂き、一部の作品は実物より良いと褒められました。



[営業担当] (写真右)

富沢印刷株式会社 営業1課 秋山昌彦

東京藝術大学様

富沢印刷

インタビュー

デザインから印刷まで安心して頼めるからずっと続いている

秋山 本日は、お忙しい中お時間を頂きまして誠に有難うございます。

今回「うるしのかたち展」の図録をご注文頂きました事により、日本アグファ・ゲバルト株式会社社主催のSublimaコンテスト2017に於きまして社長賞を頂く事が出来ました。誠に有難うございました。

小椋教授 私たちも社長賞に関する事が出来て大変うれしい。

秋山 6年連続で当社にご注文頂いていますが、どんな理由でご注文頂いているのでしょうか。

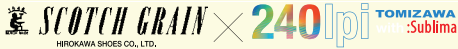
増村先生 ごちゃごちゃの原稿やデータを整理してきれいにデザインして配置して頂いているので助かっています。また、簡易校正でオリジナルの色に近いかを確かめられ、修正等も正確にして頂き、きれいに仕上がって大変良いと思います。



小椋教授 安心して頼めるからずっと続いていると思います。また、細かい色の要望も聴いてくれるからと思います。これからも宜しくお願いします。

秋山 こちらこそ、これからも宜しくお願いします。

2016年 第12回 カタログ・チラシ部門「銀賞」



細部にわたっての画像の作り込み、特に磨き上げられた靴の革の質感や、ランプ(背景)との遠近感の再現性が素晴らしく、高級感あふれた芸術的な作品でした。ハイライト部分は、高精細印刷の技術がいかに発揮されたところが高く評価されました。

受賞作品 「靴とモルトウイスキーのマリアージュ」



2008年 第4回 特別賞「社長賞」
 2009年 第5回 カタログ部門「銀賞」
 2010年 第6回 カタログ部門「銀賞」
 2011年 第7回 環境部門「特別賞」 企画部門「銀賞」
 2012年 第8回 印刷技術部門「社長賞」 新規獲得部門「金賞」
 2013年 第9回 印刷技術部門「金賞」 企画部門「社長賞」
 2014年 第10回 チラシ・パンフレット部門「金賞」
 2015年 第11回 カレンダー・ポスター部門「金賞」 カタログ・冊子部門「銀賞」 「社長賞」「審査員特別賞」

Tomizawa Digital Print [PDCA]



富沢印刷は「夢」のあるアイデアをご提案し、達成することを心掛けております。ご相談・ご要望等ございましたら、弊社営業までお声掛けください。

総合美術印刷

富沢印刷株式会社

<http://www.10330.co.jp>

〒116-0003 東京都荒川区南千住3-4-4
 TEL : 03 (5615) 1221 (代) FAX : 03 (5615) 1161
 E-mail : tm-print@10330.co.jp

